



TOKYO GEIDAI

藝大21

# 和樂の美

in 観世能楽堂(銀座)

収録日：2021年2月27日(土)

収録会場：二十五世観世左近記念 観世能楽堂(銀座6丁目)

主催：東京藝術大学演奏藝術センター／東京藝術大学音楽学部

助成：公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団／東京藝術大学同声会／日本博

※この公演は配信のために、無観客で特別に収録いたしました。

※本収録では、検温・体調管理や手指消毒に加え、演奏の直前までマスクを着用する、楽屋でも密を避けるなど、新型コロナウイルス感染対策を十分にとりながら実施しております。



文化庁



JAPAN CULTURAL EXPO

令和2年度日本博イノベーション型プロジェクト

## 雅楽 えでんらく 『越天楽』

雅楽を代表する曲のひとつです。この曲は舞がありません。唐からもたらされた曲で、飛鳥時代には仏教音楽として演奏されました。雅楽は宮廷の音楽の意味です。九州民謡『黒田節』は、『越天楽』のメロディーが基になっています。中学校の音楽教材にもなっています。

### [出演]

鞆鼓：高多祥司  
太鼓：清田裕美子  
鉦鼓：寺尾鞠花  
琵琶：瀬瀬拓也  
楽箏：岩崎達也  
笙：八槻純子  
箏：三浦元則  
龍笛：間東優香

## 半能 『高砂』 (観世流)

世阿弥 作

能で神を扱った著名な演目です。兵庫高砂の相生の松と大阪住吉の松は夫婦であったという伝説を、世阿弥が能にしたものです。半能とは、前半を省略して後半(後シテ)を演じる演出を言います。ワキの名乗りから、後半の「高砂や、この浦舟に…」になり、住吉明神が天下泰平を祝福して舞います。冒頭に鏡の間から〈お調べ〉の音が流れます。

### [出演]

シテ(住吉明神)：藤波重彦  
ワキ(神主友成)：宝生欣哉  
ワキツレ(従者)：野口能弘、大日方寛  
後見：関根知孝、青木健一  
笛：藤田貴寛  
小鼓：住駒充彦  
大鼓：柿原弘和  
太鼓：小寺真佐人  
地謡：浅見重好、清水義也、坂口貴信、小檜山浩二  
新江和人、金子聡哉、鷹雄雄紀、観世喜頭

## メドレー「江戸風流三題」

### 箏曲 「花見船・虫売り」 (山田流)

千野喜資 作詞／四代目 萩岡松韻 作曲  
盧慶順 作調

江戸の風俗を軽妙にうたった小品メドレーです。萩岡松韻が箏の標題曲として作曲した小品に、後から詞を加えて作り変えた曲です。「花見船」は深川から仕立てられた遊び船。「虫売り」は江戸時代、鈴虫など鳴き声の美しい虫を売り歩いた商人がいました。その男衆の身なりは、たいそう粋だったそうです。

#### [出演]

唄：大和礼子、今藤政子、萩岡松柯、萩岡由子  
一箏：萩岡松韻、佐々木千香能  
二箏：上村和香能、朝香麻美子  
笛：福原徹  
小鼓：盧慶順  
大鼓：藤舎円秀  
太鼓：望月庸子  
打物：梅屋喜三郎、木戸紗都子

### 長唄 「都風流」

久保田万太郎 作詞  
四代目 吉住小三郎・二代目 稀音家浄観 作曲

終戦直後の昭和22年「長唄研精会」で発表された曲。俳人久保田万太郎が、江戸から続く名残りのいろいろな市いちをうたった詞を書きました。作曲は四代目吉住小三郎・二代目稀音家きねで浄観じょうかんの合作。江戸情緒があふれる曲は大流行して、各流派で演奏されています。

#### [出演]

唄：杵屋秀子、東音小林百合  
三味線：東音瀬川靖代、東音佐藤さくら子

### 長唄・箏曲 「隅田川雪の曙」

千野喜資 作詞／四代目 萩岡松韻 作曲  
小島直文 補作／盧慶順 作調

隅田川沿いの江戸風情をうたった曲。作曲者萩岡松韻の好みで、河竹黙阿弥作詞の清元「三千歳」の語り出し、「冴え返る」の詞を借用しています。令和元年9月の「和楽の美」で序曲として演奏された曲の再演です。三味線の手付けをした小島直文氏(東京藝大教授)が令和2年に死去。編成を変えての追悼演奏です。

#### [出演]

箏：萩岡松韻  
唄：東音味見純  
三味線：東音瀬川靖代、東音山内美穂  
笛：福原徹  
打物：梅屋喜三郎、木戸紗都子

しまい  
仕舞  
『八島』  
(宝生流)

---

世阿弥 作

源平屋島の合戦を扱った能です。後半は源義経の霊が、その合戦の様子を物語る内容です。ここでは終曲部分を仕舞で演じます。仕舞というのは、装束を着用せず、囃子もなしで紋服袴で演じる略式能です。

[出演]

シテ：武田孝史

地謡：小倉健太郎、水上優、田崎甫、藤井秋雅

箏曲  
『祭の太鼓』  
(生田流)

---

宮城道雄 作曲

祭囃子の太鼓をイメージした、リズムカルで楽しい小品。この曲は戦後間もない頃に宮城道雄(作曲)により発表された曲です。今回は合奏で演奏されます。

[出演]

箏：上條妙子、吉澤昌江、野沢雅世

平野裕子、池上眞吾

尺八  
『雲井幻想 令和』

---

(公社)日本三曲協会事業部 作曲

年号が平成から令和に改まり、そのメモリアルとして作曲されました。ウイルス禍で正式発表が延び延びになっていたものです。作曲は日本三曲協会事業部です。

[出演]

尺八：野村峰山、川瀬庸輔

## 舞踊

# 『鶴亀』

(日本舞踊・長唄・邦楽囃子)

十代目 杵屋六左衛門 作曲

能の『鶴亀』をもとにして長唄に移された祝言の曲。今回、新たに花柳輔太朗が能舞台用に振付けました。内容は、皇帝が鶴と亀より新年の祝賀を受け、皇帝も舞楽に興じて舞うというもの。十代目杵屋六左衛門の作曲。

### [出演]

立方：花柳輔太朗、花柳輔瑞佳、花柳美輝風

唄：東音味見純、杵屋秀子、杵屋正則

三味線：杵屋五三郎、東音瀬川靖代、杵屋五助

笛：福原徹

小鼓：盧慶順、本山愛

大鼓：藤舎円秀

太鼓：望月庸子

蔭囃子：梅屋喜三郎、正田温子

## フィナーレ

# 『獅子團乱旋』

千野喜資 構成／四代目 萩岡松韻 作曲／池上真吾 編曲

野村峰山 尺八手付／盧慶順 作調／額額拓也 雅楽手付

邦楽の〈獅子物の狂い〉を、萩岡松韻が箏の小品として作曲したものを、『和楽の美』公演のフィナーレとして編曲し、今回出演した各流派が一堂に会して演奏されたものです。文殊を守る荒獅子が舞い遊ぶ姿が浮かびます。

### [出演]

三味線：杵屋五助、東音佐藤さくら子、東音山内美穂

唄：東音小林百合、杵屋正則、三井千絵

一箏：山岸妃貞子、設楽千聡代、伊藤ちひろ、山下紗綾

二箏：吉澤昌江、野沢雅世

十七絃：池上真吾、平野裕子

能：青木健一、田崎甫

尺八：野村峰山、友常毘山

雅楽：八槻純子、三浦元則、額額拓也

笛：正田温子

小鼓：盧慶順、本山愛

大鼓：藤舎円秀

太鼓：望月庸子



【スタッフ】

制作統括兼音楽監督：萩岡松韻

副音楽監督：小島直文

演出：花柳輔太郎

構成：千野喜資

舞台監督：増田一雄（東京舞台美術）

協力：松竹衣裳株式会社（衣裳）、株式会社大澤（かつら）、株式会社岡田屋布施（鳴物）

株式会社大槻装束店（装束師）、須田邦楽器店（箏調整）、菊屋長谷川（箏調整）、観世能楽堂

録音：亀川徹

竹内朗、長谷川綺、峯果帆、藤垣美南、池田翔、勝倉朱音

録画：山田香

東英絵、志野文音、徳永芽久、福田遼

映像監修：大石泰

ロゴ制作・宣伝美術：藤井嘉彦

制作：八反田弘、楠田健太、松岡あさひ

広報：阿南一徳

ステージマネージャー：小宮山雄太

制作アシスタント：杵家知徳、山内美穂、植村真、進藤綾音、丹野理佐、水本紗恵子

助成：公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団、東京藝術大学同声会、日本博

主催：東京藝術大学演奏藝術センター／東京藝術大学音楽学部